

学生の声が、教育を変える。

～【IR活動報告】授業改善アンケートの分析～

なぜアンケート回答率が重要なのか？

アンケート回答率の向上は、単なる調査精度の問題ではありません。それは、学生一人ひとりの声を教学改善に活かし、大学運営全体の質を高めるための不可欠な出発点です。信頼性の高いデータに基づき、私たちはより実効性のある教育改革を推進します。



精度向上

学生の実態把握の精度が向上し、的確な意思決定が可能になります。



実効性向上

多数の意見に基づき、実効性の高い授業改善が実現します。



カリキュラム反映

学生の評価を正確に反映したカリキュラムを設計できます。



環境最適化

学修支援や環境整備の優先順位を的確に判断できます。

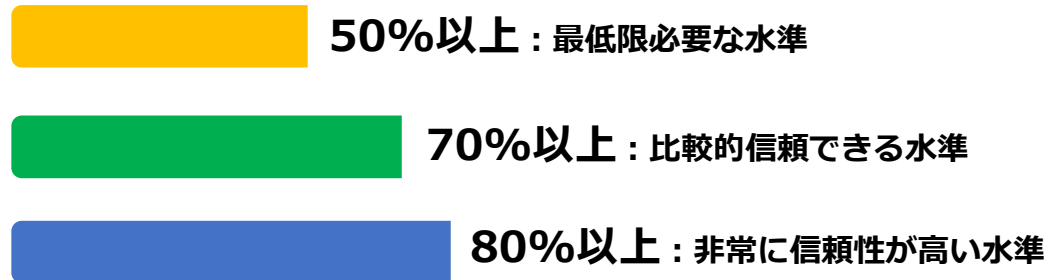


質保証と説明責任

教育の質を保証し、社会への説明責任を果たす根拠となります。

信頼性の基準と目標

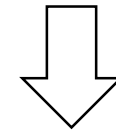
アンケート回答率の信頼性



私たちの目標

80%

回答率



4.5pt

授業満足度

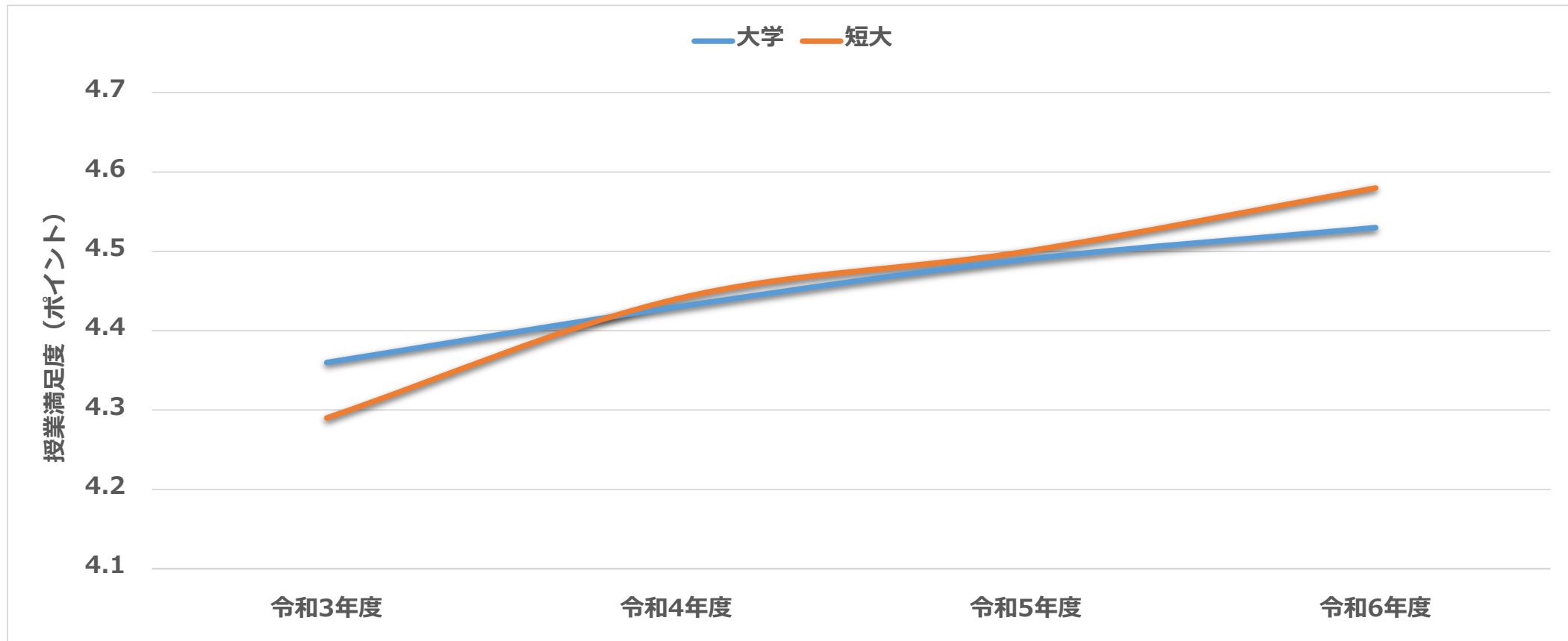
※評価指標（KPI）4.5pt以上

※評価指標（KPI）とは、第二期中長期計画における目標達成の基準となる評価の指標を指します。

※授業満足度とは、アンケート設問「総合的に考えて、この授業に満足しましたか。」に対する5段階評価の結果を指します。

授業満足度は着実に向上

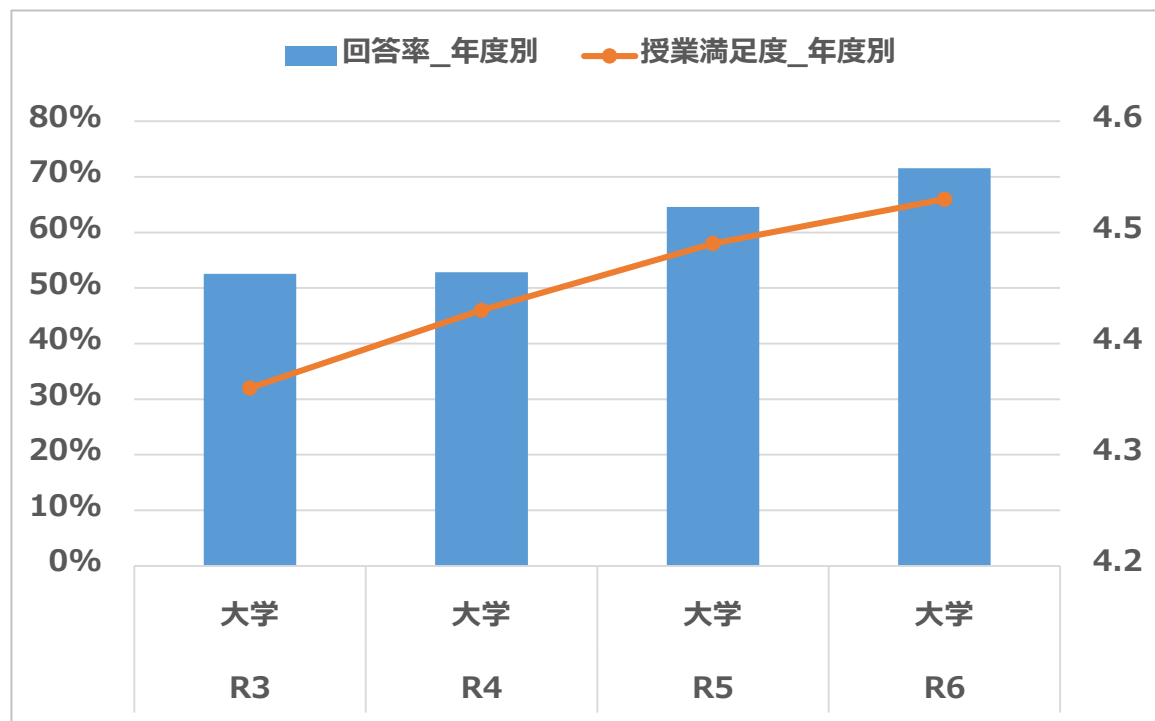
令和3年度から令和6年度にかけて、大学・短大ともに授業満足度は右肩上がりの傾向を示しています。これは継続的な教学改善の取り組みが成果として現れていることを示唆しています。



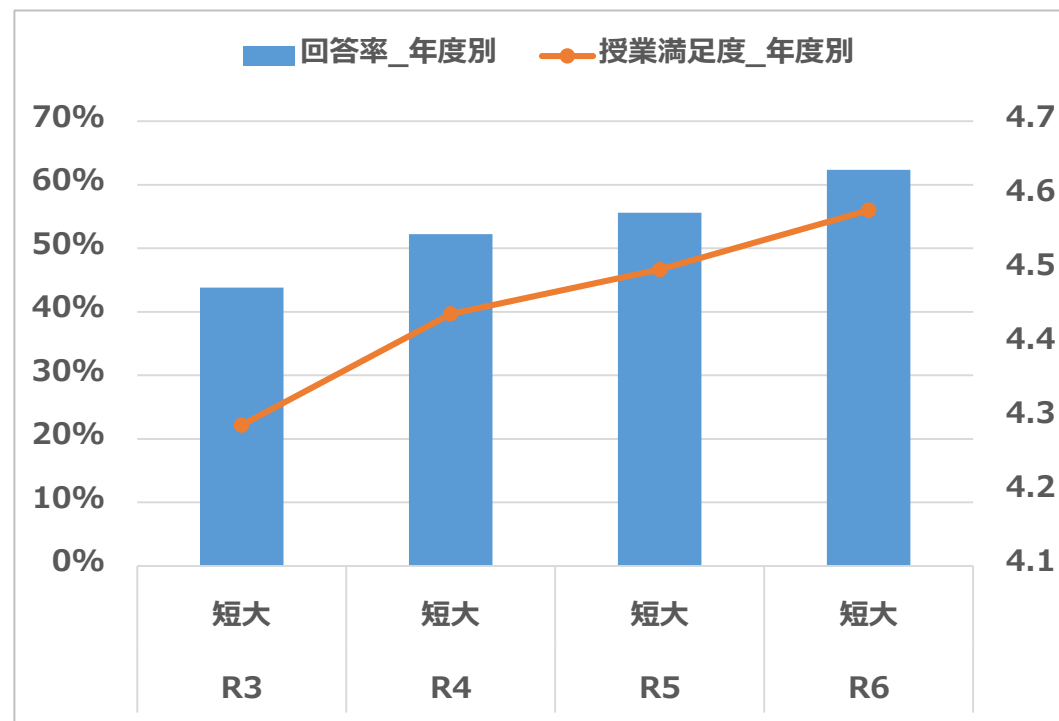
「回答率」と「授業満足度」の相関関係

各学部学科のデータを分析すると、回答率が高いほど授業満足度も高くなるという明確な正の相関が見られます。

大学



短期大学部



※令和3年度からすべての科目についてオンラインでアンケートを実施しています。

回答率向上のための対策

取組内容	取組時期
教職員および学生への周知・啓発の強化	毎回
調査結果の経年比較を分析	毎回
調査期間中に回答率をリアルタイムで確認できる 環境の整備	令和6年度 後期以降
調査期間中に回答率の中間報告を実施	令和7年度 前期

※令和3年度からオンラインによるアンケートを実施した後の取組状況です。